

まちづくりミーティング（まちづくり担い手育成支援事業参加者）

【参加者】

みなさんこんばんは。よろしくお願ひします。私は蘇原に4年前に移住してきたので、今回の舞台である那加地区はほとんど知りませんでした。第二回目の街散策で、地域の歴史やまちなみを知って興味を持ったので、職場の人や友人にも話をいろいろと聞き、昔の賑わいや地元の方ならではの感覚を知ることができて、さらに魅力的だと思うようになりました。また、この期間中にご縁をいただきまして、まちづくり推進課で働くこととなりました。仕事を通じて、どの地域にも言えることですが高齢化や空き家などリアルな住民の声を日々聞くことがあります、この街づくり事業と地域の方々を結びつけ調和し長く続けられる環境を作っていくたいと思うようになりました。

自分なりの今後のアクションプラン宣言ですが、今回参加してみて自分が思っていた以上に私は誰かの叶えたい・やってみたいを実現できるようにサポートしたり、アイデアを構築していく部分に喜びを覚えました。何かを実現するためにはいろいろな立場や考え方を取り入れることも大切だと思うので、広い視点で長く続けられるように関わっていきたいと思っています。

私の思うまちづくりですが、じつはとっても身近なものだと感じました。はじめはまちづくりというワードは大それたもので、いち個人の素人ではできないことだと思っていました。でも関わってみると誰かのふとしたことでいろいろな思いや未来が描け、その想いがまちの未来につながると感じ、まちの関心を向けるだけでも立派なまちづくりなどではないかと思うようになりました。小さなアクションでもいいと考えられるようになったら、より各務原のことを知りたくなったし、ちょっと覗いてみようかなと思えるようになりました。その自分の気持ちの変化が今回参加して一番うれしかったことです。今回ることはきっかけで、この先に一歩ずつつながると想像できたことが自分にとっても発見で、今後は各務原が好きな市民としても、まちを支える働きができる職員としても、両者の視点をもって各務原で暮らせることが楽しくなりました。まだ始まったばかりですし、今回の事業でこのメンバーに会えたことが一番の財産だと思っています。今後もこの各務原でワクワクする景色をたくさん見ないので、これからも仲良くしてください。ありがとうございました。

【講師】

ありがとうございました。さっそくアクションしたってことね、すごいね、このワークショップ中ですからね、きづいたら僕が休んでたらまちづくり推進課に入りましたって、え？って。でもそれを聞いたときすごくしっくりきたのは今まですごく悩んで自分でやってみよう・やりたいをどこに自分が喜びを感じるかというところで、誰かをサポートしたり応援したりするひとがあってのこの成功だと思うので、そうゆう状態が自分の中で腑に落ちて、さらにさっそく一歩踏み出してすでに次の課題に直面しているて本当にすごいなと思いました。これからもよろしくお願ひします。

【市長】

ありがとうございました。9月からまちづくり推進課に入っていたいでのことで、ほんとに職員不足の中お越しいただきありがとうございます。恵みの湯の時もお世話になりました、恵みの湯さんも独特的な取組をしていて、地域課題というものをとらえながら高齢者の方、あるいは高齢者の方

が一歩でも外に出るという手立てを作り上げていただきて、そういったところでいろいろ見てきていただいた方ですので、今回ほんとまちづくり推進課というところに配属いただきしておりますけれど、まさにまちをつくっている課だとわたくしは認識をしておりますので、今一緒に働いている職員を見ていただいてもわかるとおもうんですけど、ほんとに積極的に果敢に挑戦しようという姿勢がしっかりありますので、まあ今回この会に参加はしていただきましたけれど、今後は職員という目、市民という目という両方の目をもってこれからもいろんな協議をしていただきながらいろんなアイデアを出していただきたいと思いました。ありがとうございました。

【参加者】

まず参加して気づいた地域の魅力・課題ということで、魅力としてはテンとかで自分が何かやりたいことを思いつかなかったんですけど、文太さんのレンタサイクルとカフェの意見がとても素敵だったので、特にカフェの方がいいなと思って、私は高校から電車で通学していて地元に帰ってきても行くところがあんまりなくて結局イオンとかどうしても大手のお店に行くことが多くて、地域に貢献してる感はあまりなかったのでそういう場所があったらしいなと思っていた、カフェをやるときに私ができることはなんだろうと考えたときに、皆さんがプロジェクトでやっているのをみて私も何かやってみたいと思っていることがあって、ドリンクの部分をやってみたいなと思うようになりました。今アルバイトで飲食をやっていて大したものではないんですけど飲み物を提供したりしているので、もしカフェをやるとなったら出せたらいいなと思っています。まだあまりこういった活動を知らないなと思うので、私自身がテンとかイベントに行ってSNSにこういうのあるよって紹介して、まずは自分の周りの人から素敵な場所があることを知ってもらえたらしいなと思いました。

3つめの私にとってのまちづくりとは、私は愛着づくりだとおもいました。いろいろな人が愛着をもって各務原のことを好きになってもらえるといいなと思いました。以上です。

【講師】

うれしいね、うれしいしか感想がないね。やっぱりこうやって参加してなんかやりたい人がいて、何もやりたいことが浮かばない自分がいたときに、なんなくこう差を感じちゃうときって僕も経験があるし、みんなもそれぞれあると思うんですけど、そういうのを感じて、別に無理して出すものでもないし出てこないものは出てこないというのを感じていてたので、いまテンに遊びに行ってみるとかイベントを手伝ってみるということが出てきたことが僕はうれしかった。どんなに小さくてどんなに個人的なことでもいいと思っているので、ぜひ遊びに来てください。

【市長】

ありがとうございました。今、講師の方が言られたように、今回いろいろな方と関わることによっていろんな思いが出てきたという風に思います。これからももっと、年齢もお若い方なので、いろんな方と出会うこともあるいろんなことを見ることができます。そういった中でやはり自分にスイッチが入る時があると思うんですね。そのタイミングがいつ来るか分からないですけれども、やはり多くのものを見る・多くの話を聞く・あるいは何かやってみたいという風にどうしたら思えるのかということを一度経験してみると、きっとたぶんすごく簡単だと思うんですよ。それがやる気ス

イッチャーミーみたいなのをいつ入れるのかではなくて、どのように入れるのか自分でちょっと思っていただけだとだんだんと見えてくるかなと思いますので、ぜひ今後も積極的にいろんなところに出かけいろんな人と交流をしていただきたいと思います。ありがとうございました。

【参加者】

私がこの事業に参加して気づいた各務原市の魅力・課題というところで、私が感じた魅力としては、この事業に参加して各務原市を盛り上げたい熱い思いを持っている人がとても多いなということを感じました。私がこの会に参加した時には各務原市民だけが各務原を盛り上げたいのかなと思っていたんですが、実際に参加してみたら市外の方や若い人たちの参加もあって、各務原市を盛り上げたいと思っている人がすごく多いんだなということを感じました。また、この会に参加してテンや古民家えんがわなど私が知らない場所を知れたので、知られていない場所というとこでもまだまだ各務原にも隠れている場所がたくさんあるのが魅力だなと感じました。その一方で課題としては、やはりいいスポットがあっても認知度が低いというところがまだまだ課題ではあると思うんですけど、その反面ワクワクするところもあるかなというのは感じています。自分なりの今後のアクションプランとしては、お三方がアイデアを出していただいてたんですけど、私がその中で自分も何かできるかなと考えたときに、どれにも携わってみたいなという思いがあったので、その中で自分ができることは何かと考えたときに情報提供するところをしていきたいなと思いました。私はこの事業に参加するきっかけとしては、地域をよくしたい各務原を盛り上げたいというただその思いだけでこの会に参加して、実際に皆さんができるまちづくりに関わってる方たちが多くだったので、この会に参加した時正直ちょっと焦りがあって、私はこの会に参加して初めてまちづくりに携わってみようと思ったので、焦りがあった中で一から何かを創り出すことに全く興味がなかったので、視野を広げる意味でもいろんなことに自分でも目を向けてみたいなと思いました。

この事業に参加してみて、私は今大学4年生なんですけど、空き家というところで卒業論文では空き家の活用について書いてみようと思っています。その中で実際の先行事例として空き家を活用して成功して地域活性になっている場所もいくつか見られたので、私が実際に現地を見て自分が感じたことをアクションプランとしてあげている方に何か情報提供ができたらいいなと考えています。私にとってまちづくりとは、人づくりだなと感じました。私は22年間各務原市に住んでいて、小さいころからシティマラソンとかさくら祭りに参加していました。なんですか、私自身各務原市を盛り上げたい気持ちだけがずっとあって行動に移すことができてなかったので、初めて各務原市のまちづくり事業に参加してみようと思って参加させていただいた中で素敵なおじさんたちに会えて、まちづくりに興味のあるおじさんたちに会えたことが人づくりにつながっているんだと感じました。実際に私が大学生として今思っていることは、大学のゼミの中で興味があるても最初の一歩がなかなか踏み出せない仲間がいて、私たちの中でもいろんな市のホームページを見ながら若者を対象としているところに参加してみようとなっていました、仲間がいないと一步踏み出せないというのが今の大学生にはあるのかなと思うので、こういった誰でも来やすいイベントがもっとあれば若い人たちにまちづくりに興味のある人をたくさん増やしていくけるんじゃないかなと思いました。

【講師】

プレゼン資料作りうまいね、やってよかったねと思います、今のような話を聞くと。自分が大学生のころ、まちづくりや地域おこしって結構ニッチな分野で、何それ？食ってけるの？と言われた記憶があったけれど、今の世代はそういうのに興味を持っている子が多い反面一歩踏み出せない子が多いというのは勉強させてもらったので、この事業が火付け役・行動の一步になれたのが今後もやっていけたらなと思います。

【市長】

地域をよくしたいという地元愛がひしひしと伝わってくるプレゼンテーションで非常にうれしく思いました。まずは最初の第一歩を踏み出せたことが本当に素晴らしいことだなと思いましたし、卒業論文で空き家の活用方法を執筆したいと、その中でまたアイデアを生み出せたらいいなということで、まずは今の自分にできることを認識していただいているので必ずできると思います。空き家の活用にもいろいろあると思います、今回は那加地区でしたが、ちょっと前に東白川村の空き家の活用などそんな話も出たことがあります、地域によって活用の仕方が全然違うと思いますので、ぜひ卒業論文を書き上げながらもいろんな地域があるよというところを、自分らしく活動し、まとめていただきたいと思います。

【参加者】

各務原出身、大学卒業まで各務原に住んでおりました。その後12年ほど東京に出まして、デザイナーや広告関係などどのように商品の魅力を打ち出していかか仕事をしてきた中で東京のいろいろな広告にも触れ、今年の1月に各務原に帰ってきました。そんな僕が感じたのが、お話ししている通りなんかカカミガハラ面白いなど、場所やこういった集まりがあること、何よりもテンの前を通った時になんかここやばいと思って、なんかあるぞと思っていってみたときにやっぱりなんかあって気づかされたときに、面白いなと思いました。具体的に何が面白いかはいろいろなものが関わっているので難しいところでもあるんですが、課題というところでは、今のところ僕の中では問題またそれに伴う課題で明確なことは感じられていません。高齢化を感じることはあったりしますが、そうなってきたときにもう少し面白いが広がる・多くなっていけば、自分自身まちづくりというよりは単純に自分が面白く暮らせればというところの目標がある中で課題を考えると、東京から帰ってくるまでこういったことがあることを何も知らなかった、OURFAVORITE のデザインもかっこいいなとしか知らなかったことを考えると、いかにこの取り組みを認知させていくか、また社会性があつたりシニアの方だったり子どもを対象にしたものであつたりいろいろな取り組みをやっている・やれる・やりはじめようとしている場所であることを広げていくということをいかにやって行くかが課題だと思います。その課題を受けて自分は何をするかですが、自分で具体的に何かを始めようというかは、米袋さんがおしゃっていたようなことはまさに親父がそこに行ってほしいし、そこだったら親父もすごく楽しく暮らせるだろうなと思います。自分が面白いと思った取り組みやデザインかもしれない、何かしらで関わっていくことができれば自分が住みたいまちに近づくのではないかと思います。なので、何かしら面白いなと思ったところに携わりたい。最後に自分が思うまちづくりとは、前の方とかぶりますが居心地の良い時間と関係性を作っていく場、まちというのは人が集まる場なので、そこ

の中で関係性が生まれたり時間が流れたり、そういうった楽しいなと思えるような人生といったら大袈裟ですが、そういうことがさらに出てくるようなまち・場所というところに自分が力を加えていくるというのがまちづくりだと考えています。

【講師】

僕の10年間の仕事の中でひとつこれは自分の中での小さな目標があって、ふいに帰ってきた地元・各務原で、なんか各務原おもしろいって思ってもらえたならよし！って心の中でガツツポーズできるのがあって、まさに今言ってくれた、面白いと思って帰ってきたわけではなくいろいろな都合で地元に戻ってきたときに地元に面白い場所があった、僕らが駅前でごちゃごちゃやってるのをなんか面白いなって思ってくれたことがすごくうれしいです。本当に帰ってきててくれてありがとうございました。すでに参加する前からテンのイベントにはほとんど皆勤賞で参加してくれていたり寄合に来てくれたり、すでにアクションしている人の一人と思うので、これからも活動を手伝ったりとか一緒にやれたら楽しそうだなと思いました。

【市長】

おかえり。よく帰ってきてくれました。ありがとうございます。面白い場所って、まだ帰ってこられて間もないと思うのでまだまだ行きつくせていないところがあると思います。ぜひそういったところをここにいるメンバーだけも、今回は那加地区だけでしたが、例えば蘇原に住む方であれば蘇原などの情報をキャッチしていただいて、ぜひ出向いていただきたいと思います。さっき焼鳥屋の話をしましたが、経営者は60オーバーなんですね。2人兄弟でやっていて、遊び心のある面白いお店なので、こういったところは飲食だけでなくほかにもいくつかあると思います、働く場であったりとかもあると思うので、ぜひどんどん足を運んでいただきたいと思います。そして市行政として課題の一つと捉えているのが外に対する発信力というのはどうしても難しいところかなと思いながら力を入れているところですので、今もいろいろと検討しているのですがこういうことやったらどうかなどあつたらぜひ教えていただきたいと思います。ありがとうございました。

【参加者】

参加して気づいた地域の魅力は、地域をよくするための取り組みが行われていることです。今回参加するまで那加駅の周辺で新しいことが行われていることは知らなくて、例えばベルハウスが閉店したことは知っていましたが改裝されて使われていることは知りませんでしたし、古民家のテンの近くをいつも通っていてもイベントなどが行われていることは知りませんでした。だから今回参加してみて、地域をよくするための取り組みが行われていることを知れたのが良かったです。それについての課題は地域の魅力があまり知られていない。私が今回参加するまでベルハウスやテンなどを知らなかったように、まだまだそういうところを知らない人が多いと思うのでそれが地域の課題だと思います。今後のアクションプランでは、私は参加者の方に協力したいと思います。レンタサイクルとカフェでは、私はお菓子を作ったり料理をするのが好きなのでカフェの部分を担いたいと思っています。食べ物を作るには保健所の許可が必要だったりするので許可を出された場所でお菓子を作ってテンで出せたらいいなと思っています。各務原市だと古民家えんがわが製造許可があるみたいなので貸してい

ただけたら嬉しいです。カフェで食べ物を提供することで人と人がつながる場所になつたらいいなと思っています。次にカフェのメニューの提案です。今まで作ったことのある中からいくつか選んできました。コーヒーに合うようなチーズケーキとか軽食としてメロンパンの写真を持ってきました。レンタサイクルなのでサイクリングしながら食べられるといいなと思って、クッキーやパウンドケーキなどもいいなと思いました。つぎに子どものつどい場では、子どもが喜ぶことややることがないとスマホを見てしまうので遊びの選択肢を増やしてみたいなと思って、こちらも料理で協力できたらいいなと思っています。お店の人や地元の方と協力をしていくにたくさんの人を巻き込んでいくか考えてみたいと思います。最後に私にとってのまちづくりとは、誰もが楽しく暮らすための土台作りと、人と人がつながる場です。私は将来公務員として働きたいと思っていて、そのために各務原市のことを探りたて参加しましたが、今回参加してみて公務員として働くイメージがちょっと変わって、今まで公務員の仕事は困っている人を助けることだと思っていたんですが、それだけじゃなくて今各務原市で生活している人が今よりもっと楽しく過ごせるような土台を作ったり、人と人のつながりを作ったりすることが大切なんだと思いました。そのためにこれからもっと各務原市のことを探りたいなと思います。以上です。

【講師】

ありがとうございます。カフェのプレオープンとして身内でね、作ってくれたお菓子とドリンクを飲む会をやりたいと思います、勝手に望んでます、それくらいこの現場でそういうことが生まれたのが尊いなと思いました。

【市長】

ありがとうございます。最後に非常にうれしい言葉を言っていただいて、将来公務員として働きたい、もちろん受けるのは（各務原市です）ですよね、待っています。最後まちづくりとはということで、誰もが楽しく暮らすための土台作り・人と人がつながることということで、まさに市役所が目指していることなんですね。そういう中でお二人のサポートをしていきたいというふうでいくと、自分が何ができるのかがもう具体的に出ているので、どんどん積極的に前に出ていく、表に出なくともいいんですけど味があるような形で出していくのが非常に重要になってくるのかなと感じました。なんといってもまずは理沙子さんが自分で作ったお菓子や料理でみんなを楽しませたいと思い描いていただけることが一番大切かと思いますので、そういったところを今後も頑張っていただきたいと思います。ありがとうございます。

【参加者】

まず僕にとってまちづくりはどんなことかなと考えていたんですけど、まちづくりとはいいろんな人のやりたいことをやっていけるような器のような感じかなと感じていて、今もカフェやりたいとかギャラリーやりたいとか SUP やりたいとか、いろんなやりたいが集まっていいまちができているなとすごく感じました。なので、器がいっぱいになった時はすばらしいまちになっているんだろうと思いました。各務原のまちの魅力としては、みなさん言ってらっしゃったようにいろんなことやりたい人がいっぱいいるなと思いました。課題としては、すごくいいところがいっぱいあるん

ですがまちの中で点々としていて長い間住んでいる人にとっては那加エリアはなんもないって話を聞いて、いいところいっぱいあるのに思っていて、点在しているから気づかないのかなと考えたので、点を結んで面にしていくみたいなかんじにしていけばもっとまちが活きてくるのかなと考えました。僕のアクションプランとしては点をつなぐような、学びの森という大きな点を松原文具店と結んでやっていけたら面白いかなという風に考えて、みんなの ASOBIYA さんと考えました。市民公園に初めて行ったときに、そんなにいいところなのか？と思ったらめちゃくちゃよくて広くて。まず最初に何をやりたいかなと思ったらサッカーをやりたくて、サッカーボールが欲しくて、でもコンビニに行つてもないしどこに行ったらいいんだという話になったので、遊びの道具をレンタルできる場所があるといいなと思って考えました。あと、月一回くらいのペースでワークショップ開催できたらいいなと思っていて、紙飛行機屋とかステッカー屋さんとかやりたいかなと思っています。以上です。

【講師】

ありがとうございます。マーケット日和のボランティアにも参加していろいろな視点からまちのことを見てくれてこういうアイデアにつながったと思います。目線が独特だなっていつも思います。その視点って何十年か暮らして生まれてくるというか、俯瞰している感覚をすごく感じて、それは誰もが持てる視点ではないから、だから公園という既にある点と新しい点をつなごうって最初から想像してこういうアイデアが出てくれたんだろうなと思って、僕も勉強になりました。僕も公園で遊ぶのが好きで、どちらかというと遊びを作っていくのが好きなので、遊び作り得意な人結構いると思うから遊び作り好きな人がここに集合してきいろいろな遊びができるいくと楽しいなと思います。

【市長】

ありがとうございました。紙飛行機とか凧つくり、松ぼっくり探しなどユニークなところに着目されているなど、講師の方が言われるとおりちょっと広めな視野でのものをとらえられているなと感じました。まさに各務原というと航空機のまちですので、飛行機といった観点から以前に紙飛行機の全国大会が開催されたんですね。そういうこともありますので、ぜひ思い描いていただいているものがこれだけたくさんありますので、着実に一つ一つ計画を立ててこなしていくっていただいて、ぜひ紙飛行機の全国大会をまた各務原市に誘致をしていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

【参加者】今回参加して気づいた魅力としては、自分の知らないところで面白い場所があるなと思いました。自分の通り道でも、2回3回と通っていくことでこんなのあるんだという気づきがあるなと思いました。課題としては、おもしろいと興味があるとしても、それが知らなければ知らないまま終わってしまいます。自分の友達でもこういうのがあったんだよと話しても知らなかった！となってしまうので、そこが課題ではないかなと思いました。自分なりの今後のアクションプランとしては、自分は自転車を修理に出して2000円払うのが嫌だったから自分で修理しているんですけど、その修理を生かしてレンタサイクルの修理ボランティアをしていきたいなと思いました。私の思うまちづくりとしては、人と人が支えてまちをつくっていくことじゃないかなと思いました。結局一人でまちをつくっていくにしても誰にも興味は伝わらないし、長い時間かかるかなまだと思うの

で、人が協力していってまちをつくっていくことによって早くまちがつくられていくのではないかと思いました。

【講師】ありがとうございます。進路どんな感じ？お母さんと知り合いで、この子は勉強ができないくてどうしようもないって頭を抱えていて、だから面接で言えるような経験をどんどんしておけと尻叩かれいろいろな活動に行って、いいのがあったら教えてくださいと言われて今回これを送ったらまさか参加すると思ってなくて、でも参加して実際に今みたいな気持ちを思って言葉にできたことっていうのを高校生のうちにしているということに感動しています。大学生になってもぜひ一緒に遊びましょう。

【市長】

ありがとうございました。まずは高校生でありながら参加していただいたことにすごいなと感じました。自転車うちにも2台ありますので壊れたときにはぜひお願ひします。今の自分ができる自転車修理だとかきっかけがあって、それを得意分野としてサポートできればという心温まるエピソードをお話しいただいて、おそらく自転車の修理は今できます、他にも何か絶対できることってたくさんあると思いますので、ぜひそういったことからまーさんが高校・大学・社会人になってく過程において最初のきっかけ、自分の自転車を自分で直そうというきっかけ、そういったきっかけって絶対に出てくると思うので、そのきっかけを大切にしていただきながらいろんなことに挑戦していただき、それを自分の特技として自分のものにするということがひとついいことかなと思いますので、ちょっと気にかけていただければと思います。

【参加者】

皆さんお久しぶりです古民家えんがわのオーナーです。2か月来ない間に7月には開業していなかった民泊が開業したと思ったら、ものすごく忙しくなってしまってこんな田舎にも外国人来るんだって状態になっています、ありがたい話でございます。じゃあ私は民泊のオーナーになりたかったのか、これ自分がしたかったことかというのか考えたときに違うなって今感じていて、今日一日まちづくりって私にとってなんだろうと考えていたら、やっぱりまちづくりって人づくりだと私は思っています。私は、箱を作るのが私のやりたいことかなと思っています。まっさらなステージを作りたいと思っていて、そこに自分が演者として立つではなくてプレイヤーの方いろんな人が活躍できる・ステージに立てる箱を作つてあげたいという風に思っています。やりたいことが何も出てこなかつた、ならサポートに回りたいという話があったのですが、全員がステージに立つたら劇は全く進まなくて、プレイヤーがいて音響がいて大道具さんがいて脚本を書く人がいて、いろんな裏方さんや支える人たちがいて初めて成り立つので、得意なところを得意な分野で活かせる、そういう状態を作つてあげるのが一番やりたいことだなと思って、いっぱいストレスを感じながら神経使いながらやっています。ここでみんなの話を聞いていて伝えたいことが、古民家えんがわがあるんですが、どういう人たちで成り立っているのか、たぶん皆さん一緒だと思います。一番外側は興味がない人、見ているだけの人・通り過ぎていく人、インスタだったらフォローはしているけれどほとんど見ていない人、その内側にユーザーがいる、来たことがある人、その人たちがもっとこの場所を気に入るとコアなスタッフになつ

ていく、ユーザーで終わらずにコアなスタッフになれるという環境、ゆるい関係性を作っています、これおもしろいです。私がやりたい・やりたい人たちが集まっているけれど、ここから見えない周りの人たちをうまく取り込んで、どんどん興味のある人たちも新しく取り込んでいけるような広くオープンな居場所を作っていくたい。私はそこをもっとたくさん作っていきたいというアクションです。課題はお金です。やっぱりお金です、場所を維持するにもお金がかかってきます。ではどういう風にお金を集めていくのか？うちの場合は、収益を三階建てにしています。お金を場所に落としていってくれる人は一番下のいつものユーザー、いつものユーザーだけだと限界が来ます。いつものユーザーだけだと場所の維持は限界が来ます。なので、そこにプラスして2階層を作っている、うちの場合は時々使うユーザー・金額的に1万円くらいのユーザー・レンタルスペースで使ってくれるユーザー、さらにその上の一回しか使わないユーザー・この人は1~2万円くらいの民泊などのユーザー、さらにその上にこのユーザーが乗ってくるわけです。この全部を使ってやっと事業やうちの施設が賄えるという考え方になります。外から飛んできた人たちは別のポータルサイトを使ってくれた人たちスペースマーケットやエアビーなどから来てくれた人がいるので成り立つ。他県や海外など古民家えんがわを全然知らないところから来てくれる人たちがお金を落としていってくれます。それを結局どうするかというと、私が儲けていて終わりではなくて、運営をしていく中でこの人たちが働く場を提供しています。この人たちは子どもを育てていたり障がいを持っていたり、でもやっぱり働きたい。そういうったときにここで働くことができる。私はここで収益があるからお金が支払える。だからこここのコアな人たちはずっとコアなスタッフでいてくれるんです、というのを大事にして眠れない夜を過ごしています。今日いい話をいっぱい聞いて私もスタートはこんな感じでやっていたなど、実際には非常に苦しいこともあるけれど、でも自分がなぜまちづくりの活動をスタートしようと思ったのか、そこは忘れないでほしい。変わるものかもしれないけれど根底になるものは絶対変わらないから、なぜやりたかったのか・私は今なぜこれをやっているのかをその都度振り返ってやっていってほしいなと思います。

【講師】

途中から開業支援セミナーに来たみたいになってたね。でもこれがきっと行動して歩みを進めてきた人の言葉の重みだったりとか苦労されているし、すごい母ちゃんもったな。まとめてもらったなと感じました。まさにおっしゃったとおりのことを僕も思いますし、今までやってきたことを見てきたしお手伝いをさせてもらったこともあったけれど、今みたいに話している姿とか見たことがなかったので、始めたい人にエネルギーを与える人なんだなとか、これからつなぎたいなと思う人が僕の中で何人か浮かんだりしてきたので、なかなか足を運べていないですけれどちょっとこ顔を出したいと思います。これからもよろしくお願いします。

【市長】

ありがとうございました。まちづくりはひとつづくり、ひとつづくりはまちづくり、両方の言い方があると思いますが、その通りだと思いますし、もうひとつ人活躍の場を作りたいというのは本当に大事だと思います。多くの方がどれだけどのような形で活躍をしていただくのか、その人の個性・特性・自慢できるものなどいろいろありますので、まずはステージを用意してどういった方に集ってい

ただくのか非常に重要なところに既に理解をいただいているということで、今忙しすぎるのでちょっと他に目がいけてないのかなという風に感じますが、コアのスタッフメンバーであったりとかこれからだんだんと応援者が増えてくると思いますので、その余裕が若干でもできたときには、また今お話をいただいたようなことを試みていただきたいと思います。ありがとうございました。

【講師】発表を終了したいと思います。最後にまとめを軽く話します。

皆さん発表お疲れさまでした。すごくいい心の状態です。ほとんどさっき話した内容に含まれるんですけど、僕にとってのみんなに問っていたまちづくりとは何か?というので、自分がまだまちづくりとは何かが最近ちょっとぶれてきて、迷い始めた時期だったんですけど、原点という話で僕が最初に関わった時に見たまちは、そこにいるすべての人たちが、そのまち暮らす環境のこと、自分の暮らしているそのエリアのことを自分事としてとらえていた。みんなが自分の部屋を自分のものだと思うように、みんながまちのいろいろなところを自分の場所だ、でもあの人の場所でもあると思いながらうまいこと関係性を築いていくのがまちだなと、それをかっこいい・そういう場所に住みたいなと思ったところが自分の原点みたいなところだったので、そういうところを見つめ直させてもらう自分にとってもいい機会になったし、そういう人を一人でも増やしていこうというのが目標だったので、今回こうやって声かけて集まってくれた人も興味を持って集まってくれた人も、本当にありがとうございます。自分にとってこのまち各務原ってところは、いつか帰る所でありたいなというところがあるので、みんながこれからどんな人生を歩んでどういう風に生きようと、さっき進藤君におかれりって言ったように僕もお帰りって言ってもらえる場所を僕自身で作っていけたらと思うし、みんなで作っていけたらと思っているので、さっき冗談で言ったけれどカフェの試作会みたいな交流会のようなものをちょこちょこ具体的なことをふったり、みんなからふってあげたりとかでもいいので、そういう場所をちょこちょこと作っていけたらと思いますので今後ともよろしくお願ひします。

【市長】

皆さんありがとうございました。まちづくりって本当にいろいろな形があると思います。今日皆さんに発表していただいてそれぞれの思いがあり、自分がどういったポジション、プレイヤーになるのかサポーターになるのか、自身の特性があるのでそういったところは自分で考えていただいて、ただまちづくりをしていこうとしている方が皆さんの周りにもたくさんいると思うので、そういった方々からいろいろな声を聴きながら自分なりに、あるいは自分のアイデアをさらに発信していっていただきたいなと思います。まちづくり、まさに人であったり交流であったり笑顔であったり自分の居場所づくりであったり、いろいろな観点がありますけれど、おもしろさは事であったり物であったりいろいろなものがあります。例えば、今日は市民の方が半分以上参加いただいておりますが、各務原市が公式に発表している市の名前ってわかりますよね?公式に発表しているのはかかみがはら市、ただ市の名前の読み方ってまだあります。県立高校3つあります。一個は岐阜かかみの高校なのでちょっと違いますが、同じ漢字をあてて、西の付く方は岐阜県立かかみがはら西高校、かかみはら高校、同じ

県立高校でありながら読み方が違う。ではJRの駅を見てみるとJRかがみがはら駅、これも公式に出でています。すけれども、この同じ字を当てながら違う読み方をするのが少なくとも3つある。合併して今年61年目になりますが、合併する前に各務原市の4町に住んでいた方々はこれまた読み方が違って、かがみはらと読む方もみえます。今日若い方々みえますけれどもイオンはみっぱらのイオンと言いますよね、これだけでも面白い。以前この各務原市の市名の読み方というだけでテレビ取材を受けたことがあります。ここでまた面白いのが、市の公式に発表している読み方、市民の方で何割くらい言えたと思いますか？テレビ局がリサーチした結果、4割の方でした。各務原市内に住みながらかかみはら高校出身の子はずっとかかみはらで覚えてしまう。これも面白さの一つなんですね。そういういろいろなところに面白いもの、あるいは人であったり笑顔であったり、自分の笑顔のみならず人の笑顔によって、この人はなんでこの笑顔があるんだろうということを感じ取っていただくと、さらにそこにはいろいろな人の歴史であったり各務原市の歴史もありますが、その人の歴史を知るのもひとつの面白さではないかなと思います。ありがたいことに各務原市は、あるリサーチ会社の調べによりますと、40代以下の方向を対象にしたアンケートでは、岐阜県内42の市町村で永住したいまち1位に2年連続で選んでいただいている。これは縁が多いであったりとか、活力があるなどいろいろなキーワードがありますけれど、まさに今までの方々がこういった評価につながることをやってきていただいております。まさにこれから皆さんが高いいろなことに果敢に取り組んでいただくことによって、さらによくなる各務原になっていくと思いますので、果敢なる挑戦をし続けていただきながら、そしてこよなく各務原市を愛していただきたいと思います。今日はありがとうございました。